

すわみつえ通信

No.354 2025年3月24日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

鴻巣市議会3月定例会閉会する

新年度予算 賛成多数で可決

●一般会計歳入・歳出	431億3100万円
●特別会計(国保・介護など)	246億3800万円
●公営企業会計 (上下水道・農業集落排水など)	80億5875万円
【総額】	758億2775万円
	(前年度比 16億134万円増額)

3月定例会は2月20日に開会し、3月19日に閉会しました。新年度予算は前年度比較で、2.2%増額の予算規模となります。

日本共産党は、36議案の31議案に賛成し、新年度予算(一般会計、国保特別会計)、条例(職員給与、こども誰でも通園、水道料金値上げ)の5議案に反対をしました。また、最終日に上程された委員会提出議案(鴻巣市議会ハラスメント防止条例)、議員提出議案(再審法改正を求める意見書)他1件に賛成をしました。

<一般会計> 賛成できない4事業を指摘し反対討論を行いました

①「ふるさと寄付金」は、物価上昇を反映した日常品など返礼品で適切なものがなく苦戦しています。2023年度鴻巣市に寄せられた寄付金額は、約1億1300万円、返礼品事業費として約6000万円。鴻巣市民が他自治体に寄付した金額は約3億2000万円で、国から赤字分75%を交付税で補填されましたが、約2700万円の赤字でした。ふるさと寄付金(ふるさと納税)は止めるべきです。

②部落解放運動団体の補助金として112万7000円。様々な差別が現実にはまだありますが、一運動団体への補助金支出は、適切ではありません。

③乳児等通園支援事業3265万4000円。こども誰でも通園制度を運用する予算です。子どもを育てる親にとって、就労状況等に関わらず、一時的に子どもを預けられることは、大変助かる場合があることは間違いありません。しかし制度は0歳・1歳・2歳だけが対象にもかかわらず、保育士は1/2の配置となっています。保育の現場では乳幼児の場合、はじめは数時間から預かり、徐々に時間を長くしていく「慣らし保育」をします。事故が最も多いのがこの0歳児から2歳児です。子どもの命を軽んじるような事業です。

④川里地域における義務教育学校整備事業のための「測量委託料」1069万8000円。小中一貫教育を行う義務教育学校は全国的に「小学校高学年児童の指導に課題が出始めている」ことが報告されており、義務教育学校そのものをとりやめています。住民との合意形成ができていない中で進めるべきではありません。

日本共産党演説会

4月12日(土)

午後2時～ 大宮駅西口



政治を変える道があります

日本共産党 衆議院議員

志位和夫議長が熱く語ります

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

春一番大谷くんに負けた様

【俳句コーナー】

瑠璃子

20年前の官房機密費 資料に「商品券」 日本共産党が公表 許されない税金の私的流用 TBS系「news23」

岸田文雄前首相も在任中に商品券を配付していたことが発覚するなど、自民党全体の根深い金権体質が明らかになるなか、3月19日のTBS系「news23」は、「約20年前の“機密費”資料には『商品券』の記載が…」と報じました。番組では、コメンテーターの星浩さんが、「ここにきて官房機密費との関係がどうなのかという疑念が出てきて、きちんと説明する責任がある」として、「実は、約20年前に、こういう資料がありまして…」と金銭出納帳の一部をコピーしたパネルを示しました。



星さんは、出典を明らかにしませんでした。これは2002年4月12日、日本共産党の志位和夫委員長（当時）が記者会見して、官房機密費の詳細な使途を明らかにした内部文書を入手したとして公表したもの。宮澤喜一内閣で加藤紘一氏が官房長官を務めていた時期（1991年11月から92年12月）の会計記録の一部です。（「しんぶん赤旗」日曜版3月23日号でも紹介）

「国会对策費」という分類で3574万円が支出された、などと記載されています。おもなものでは、「総務会メンバー39人（背広）として1170万円（91年12月17日）、「商品券」として312万2575円（92年2月27日）などがありました。当時、新聞記者だった星さんは、「その信ぴょう性はかなり高いということで、大々的に取り上げた」と振り返り、「ここに『商品券』312万円あまりと書いてある。だから商品券として（官房機密費を）支出していた。このやり方が、この後も続いているのか、いないのか。これは今後、相当大きな問題になってくると思いますね」とのべました。星さんは、「国民感情からずれている永田町の論理がある。領収書がいらぬおカネは非常に使い勝手がいいので、何らかの形で温存したいという気持ちが残っている」と指摘しました。

内部文書を公表した志位氏は当時、「これらは、自民党の党内対策など、党略的目的のために、（官房）機密費が使われていたことを示すものだ」と強調しました。官房機密費は税金です。その私的流用、党略的流用は許されません。徹底的な真相解明が必要です。【しんぶん赤旗 3月21日付】

秋田魁新聞 コラム「北斗星」

涙目で「たすけてください」と祈るおむすび。消費期限が迫る商品に貼る値下げシール（涙目シール 右の写真）のデザインだ。感情に訴え手に取ってもらおうと、大手コンビニが作った

▼この試みが先日紙面で写真とともに紹介された。県内店舗でも来月から順次お目見えする。食品ロスを防ぐ狙いだ。おむすびの

切ない表情を見ているうち昨今のコメを巡る状況を思い浮かべた▼昨夏の「令和の米騒動」後、コメの値段は高騰。物価高に苦しむ消費者、コメ集めに奔走する流通業者はもちろん、手取りが増える生産者でさえコメ離れが進まないかと気をもむ。みんな涙目になっていないか▼値上がりを見込んで一部業者が買い占めたり、不安を感じた家庭が普段より多く買い置きしたり。流通の目詰まりが米価高騰の背景とみる政府は備蓄米放出を決め、入札を実施。近く各地の店頭に並ぶというが、値下げ効果は限定的との見方もある▼コメの生産調整（減反）が廃止されたのは7年前。政府はその後補助金を出し転作を促してきた。需要予測に沿った生産で米価を支えるためだ。作柄不良やインバウンド（訪日客）増加で需給バランスが崩れれば再び騒動が起きかねない。余裕のある生産体制が求められる▼長い目で見れば国内需要は減っている。人口減に加え、ピークに118キロだった1人当たりの年間コメ消費は51キロになった。主食は細る一方だ。みんなを涙目ではなく笑顔にするコメの将来とは。それぞれの立場で考えたい。【秋田魁新聞 3月18日付】

